



Living My Dream Life

in ふじのくに

移住者に  
ウェルカムな風土に  
恩返しをしたい。

## 鈴木ステラさん

フィリピン・ラグナ市出身  
(浜松市在住)

1994年フィリピン・ラグナ市生まれ。浜松学院大学で地域共創を学び、学内にインターナショナルスクールを設立、初代校長を務める。2019年春に就職するが、同スクールの公立化に向けて活動を続ける。日本語、英語、タガログ語のトライリンガル。自称「生来の負けず嫌い」。好奇心が旺盛で来日当初は苦手だった刺身も現在は大好物。



熱く夢を語る姿は、小柄な身体に秘めたパワーを感じさせる。



浜松インターナショナルスクール。浜松学院大学の講義室を使い、授業を行っている。

鈴木ステラさんは、フィリピン出身。浜松学院大学の在学中にインターナショナルスクールを設立し、初代校長を務めた。

鈴木さんが来日したのは13歳の時。フィリピンにいた頃は、「知識は財産」という叔母の教えを守り、小学校を飛び級で卒業するほど優秀だったが、来日して公立中学校に入学すると事態は一転。「日本語がまったく分からず、テストで0点をとることもありました」と鈴木さんは振り返る。

「自分が許せなかった」と語る鈴木さんは、その後、日本語と勉学に打ち込み、浜松学院大学の地域共創学科に入学。授業の中で外国人労働者取材すると、ある考えが浮かんだという。「浜松で暮らす外国人は生活環境には満足しているけど、子どもの教育環境に不安を抱いている。思い返せば自分も同じ境遇だった。それならインターナショナルスクールをつくれれば良いのでは」。そう思った鈴木さんは、恩師である津村公博教授に背中を押され、学内にインターナショナルスクールを設立。現在は外国出身の小学生約20人が通っている。「辛い思いもしましたが、私は浜松という地域に助けられました。その恩返しをするためにも、ゆくゆくは公立の小学校にしたい。夢は国立大学をつくること」と語る鈴木さんの笑顔は、向学心とチャレンジ精神で輝いている。